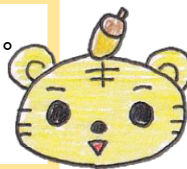


先月は怖い本のコーナーからたくさん借りて頂きありがとうございました。

11月は読書の秋！司書の渾身のおすすめ本を揃えました。

今月も、素敵な本との出会いがありますように。



♪ほけんしつ×としょしつコラボ企画♪
「いろいろあるけど大丈夫コーナー」



- 10代からの政治塾 泉 房穂
- 火星に住むつもりです 村木風海
- 同姓同名 下村敦史
- 6days 遭難者たち 安田夏菜
- 復讐は合法的に 三田市 零
- 復讐は芸術的に 三田市 零
- ガラスの海を渡る舟 寺地はるな
- アトム的心臓～「ディアファミリー」23年間の記録 清武 英利



読書週間 10/27～11/9

日本の読書週間は、1947年、戦後の貧しい時期に読書の力によって知識を深め、平和で豊かな国を取り戻そうと始まった活動です。この時期だけでなく、いつでも本が読める環境でいられることに幸せを感じずにはいられないですね。

11月 霜月

この時期には霧がしきりにおるため霜降り月と名付けられたのが変化したと言われています。



今月の推し本



●『オードリー・タンの誕生』石崎洋司

台湾のコロナ感染拡大を抑え込むことに成功した天才デジタル大臣の伝記。「世界の頭脳100」にも選出された、彼女の驚きの人生が書かれています。

●『火星に住むつもりです～二酸化炭素が地球を救う～』村木風海

CO2を活用して地球温暖化を止める研究をしている著者の、環境問題を解決して火星に住むんだ！という子どもの頃からの熱い思いが詰まった一冊。

●『10代からの政治塾～子どもも大人も学べる「日本の未来」の作り方～』泉 房穂

政治家の在り方・印象・実態や市民一人一人の政治への関わり方が分かりやすく書かれています。読み終わった頃には「政治家になりたいなあ…」と考える人も絶対いる！



後期図書委員さん
よろしくお願いします



図書委員を選んでくれてありがとう♪

おまけのまんが (司書家の日常) vol. 3

